

○井神議長 質問時間は60分以内で、通告に従い、発言席から順次質問を許可いたします。

通告1番目、10番、田畑昭二議員、総括方式で質問をお願いします。

田畑昭二議員。

○田畑議員 おはようございます。

10番、田畑昭二です。議長の許可を得ましたので、さきの通告に従いまして、総括方式で3点質問をさせていただきます。

まず1点目は、ハチの巣の駆除における補助についてであります。

高齢者宅にハチの巣がつくられ、駆除する場合、市より殺虫剤や防護服の貸与はしていただけますけれども、独自では作業が困難な場合、専門の業者に委託して駆除してもらうこととなります。その場合、全額個人の出費となり、負担が大きいものとなります。例えば、周辺に通学路等があり、子供たちに危険が及ぶ場合、公共の安全の観点から、市としても対応しなければならないと思われまます。個人だけの問題ではなく、かかった費用の一部は市が助成すべきではないかと考えますが、当局のお考えをお聞かせください。

2点目は、岩出市巡回バスの改善についてであります。

最近、高齢者の運転による痛ましい交通事故が各地で多発しておりますけれども、できるだけ高齢者は免許を返納し、公共機関のバス利用が好ましいところでありまますけれども、ふだんから自家用車を使っている方にとっては、よほどのことがないと自動車は手放しにくいのも事実でございます。

そこで、現在、多くの方に親しまれております巡回バスであります。高齢者の方々からさまざまな要望を聞いております。

まず1点目は、時刻表の表示が小さく、見にくいので大きくしてもらえないかという声でございます。

また2点目は、バス路線について、東周り、西周りといったコースがわかりにくく、例えば、バスのカラー分けで一目でどちら方面に行くバスかと、もう少しいろんな方法で改善していただければという声も寄せられております。もう一度、高齢者の目線に立って検討をしていただけないか、お尋ねいたします。

3点目、在宅血液透析導入にかかる機器設置工事費の助成について、お尋ねいたします。腎臓機能障害の方が、どうしても仕事の関係や、やむを得ないとき、在宅血液透析をする場合の機器設置における電気工事や排水工事の費用の一部を助成している市町村もございます。当市においても、そういった費用の一部の助成はでき

ないか、お尋ねいたします。

以上3点、よろしくお願ひいたします。

○井神議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 おはようございます。

田畑議員ご質問のまず1番目について、お答えいたします。

通学路における交通を初めとするさまざまな安全を確保することは必要なことと認識しておりますが、個人が所有する土地あるいは建物におけるハチの巣の駆除につきましては、所有者または管理者の管理責任の範囲であると考えております。

高齢の方のみならず、自力で駆除することが困難な場合は、やむを得ず駆除業者に依頼される場合も多いと聞いておりますが、現在、駆除に対する助成に関しましては、県内の他市ではいずれも実施していない状況です。

また、本市では、防護服の貸し出し制度を設けておりますが、同様の制度は、本市を含め4市であります。

今後も引き続き、防護服の貸し出しによる支援を行ってまいりたいと考えておりますので、ハチの巣の駆除に対する費用の一部を助成することは、現在のところ考えておりません。

なお、市が管理する公園や公共施設でハチの巣が発見され、通報があった場合、速やかに駆除を行うなど、安全管理に努めてまいります。

続きまして、ご質問の3番目についてお答えします。

市におきましては、障がい児、障がい者が自立した生活を送るための支援や社会参加の機会を確保するため、障害福祉サービスの充実及び地域生活支援事業の実施、就労支援など、さまざまな施策を展開しているところであり、このうち腎機能障害で人工透析を受けておられる方々に対しましては、自立支援医療等の支援を行っているところです。在宅血液透析は、腎臓機能障害の方が病院へ行くことなく、在宅で透析を行うもので、夜間等に透析をすることで、就職など、社会復帰もしやすくなり、生活の質の向上や社会参加の推進を図る上では有効な手段であると認識しております。

現時点では、市としましては、障がい児、障がい者全体のバランスを考えて進めていくこととし、1つの障がいだけを対象とした市独自のサービスを設定することは考えてございませんが、近隣市の状況や国の動向等、情報収集し、調査研究してまいります。

以上です。

○井神議長 総務部長。

○藤平総務部長 田畑議員ご質問の2番目、岩出市巡回バスの改善についてお答えをいたします。

議員ご指摘のように、最近、高齢者による交通事故が多く報道されており、高齢者の運転免許証の返納が推進されております。運転免許証を返納した場合の移動手段として、岩出市巡回バスが有効な手段になると考えます。

そのことから、高齢者がより利用しやすくするために、岩出市巡回バスの時刻表については、現在、A3サイズにて作成しておりますが、より文字を大きくし、見やすくするため、拡大版の時刻表の作成を検討してまいります。

また、運行系統図の改善につきましても、拡大版の作成に合わせ、主な公共施設などの目標物を記載することで、運行経路をわかりやすくする等、検討してまいります。

以上でございます。

○井神議長 再質問を許します。

田畑昭二議員。

○田畑議員 まず1点目のハチの駆除の件でありますけれども、今現在は、検討することはないということで答弁をいただきました。そこで、ちょっと矛盾が感じれますのは、実は、公共施設等、市の管理する公共空地もそうなんですが、そういったところでのハチの巣に対しては、市が責任を持って駆除しますということです。

たまたま隣の家が民間の普通のお家で、公民館の隣に仮に家がありまして、その家の軒先に大きなハチの巣ができた。それは民間ですから市は関与しませんよと。たまたま隣の公民館の軒先にできた場合は市が関与しますよと。その前の道が通学路であった場合に、市は知らん顔してほっとけるのかという、その辺のちょっと矛盾を感じるわけですね。

だから、当然、私道と市道の違い、その感じもあるんですけども。ただ、これは公共の安全性という観点では、やはり市も黙って見ておくわけにはいかないと思うんですけども、その辺、助成というよりも安全性の観点から、何とか市も通学路等の安全確保をする手だてというのはないものかなと、そういう観点で、今回質問させていただいたわけでございます。教育委員会のほうも、一度その辺のお考えをお聞かせいただけたらと思います。

2点目の巡回バスの件ですけれども、非常に巡回バスも、最近は多くの方が利用

なさっていらっしゃると思います。できるだけ多くの方が利用する上においても、今、先ほど、答弁いただきました時刻表を大きくしたり、また、系統図をわかりやすくしたりということで、非常に乗りやすい、わかりやすいという循環バスの利用する方が多くなるような手だてが必要だと思います。

そういうことで、もう1つは、やはり高齢者の方が、これからどんどん乗るであろうということで、以前、私も一般質問しましたけれども、低床といいますか、乗るときに少し低くなるバスですね、あれは今すぐには無理だという答弁でした、その当時は。そういうことで、これからも、やっぱりちょっと足のお悪い方とか、ゆっくりしか上れないとか、そういった方も、ある程度、これからも想定どんどんされると思いますので、そういうバスの導入も視野に入れなければいけない時代に、どんどん入ってきているんじゃないかなと思いますので、その辺のご検討もいただけたらと思っております。

3点目の腎臓透析の件でありますけれども、これは和歌山市でかなり手厚い補助制度が確立されております。そういうことで、できるだけ普通の生活ができるような、そういう勤労のできるような、そういう環境をつくってあげるといふか、そういうことによって勤労意欲もわきますし、また、市としても働いていただける方が多くなるということで、1つだけちょっと再質問させていただきますが、現在、岩出市で血液透析をなさっている方の人数と、それとご自宅で血液透析をなさっている方の人数を教えてくださいと思います。

以上です。

○井神議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

生活福祉部長。

○山本生活福祉部長 田畑議員の再質問にお答えいたします。

まず、ハチの巣の関係でございます。通学路のみならず、まちの安全を脅かすもの、いろいろございます。その中で行政が対処すべきもの、それから消費者、管理者の方がそれぞれの責任において対処していただくべきもの、それぞれあると思います。今回のハチの巣に対しては、我々、土地の所有者、管理者の管理責任の範疇だと考えております。なので、現行の防護服の無料貸し出し等を引き続き行ってまいりたいと思っておりますが、ハチも何種類かございます。そのような対処方法であるとか、そういうような情報提供、あるいは駆除業者の紹介であるとか、そのような相談、特に高齢者の方、いろいろ相談ございましたら、特に、丁寧に対応して支援をしてまいりたいと考えております。

それから、3点目の透析患者の再質問でございますけども、平成28年、本年の12月9日現在の血液透析を受けておられる方は86名、それから、うち在宅で血液透析を受けておられる方が4名となっております。

以上です。

○井神議長 総務部長。

○藤平総務部長 田畑議員の再質問、巡回バスの件でございます。

使いやすい仕組みにすれば、バスも使ってもらえるという発言をいただきました。私もそれについては同感でございます。

それから、ご提案をいただきました低床バスについてですけれども、高齢者の方が乗りおりしやすく、大変有効であるということは考えてございます。今後、巡回バスの更新を行う際には、高齢者の方が乗りおりに不便を感じない構造の車両導入を検討してまいります。

以上でございます。

○井神議長 教育部長。

○秦野教育部長 田畑議員の再質問、ハチの巣に関連してお答えいたします。

教育委員会としましては、交通安全のみならず、例えば、ハチであったり、猿であったり、イノシシであったり、そういった通学路の安全ということ、常に学校等と連携しながら、安全確保に努めているところでございますが、このハチの巣に関しては、基本的には生活福祉部長の答弁のとおりでございます。

○井神議長 再々質問を許します。

(なし)

○井神議長 以上で、田畑昭二議員の一般質問を終わります。